

沖縄市下水道事業経営戦略の中間評価

1.概要

経営戦略は、将来に渡り持続的かつ安定的なサービス提供を目的とした、中長期的の事業運営の方針や概要等を取りまとめた計画となります。


今回は、計画期間の折り返しとなる 5 年目を迎えることから、これまでの実績を評価するとともに、現計画の内容を検証します。

2. 経費回収率の向上に向けたロードマップ

(1) 下水道事業使用料の適正化に関する項目

①経常収支比率

(単位：%)


	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
目 標	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上
実 績	100.06	100.93	101.32	100.87	今後も継続して 100%以上を目指す 					

【結果】

経常収支比率について、実績値は目標値 100%を達成している。

②経費回収率

(単位：%)


	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
目 標	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上	100 以上
実 績	70.28	83.49	87.88	84.93	今後も継続して 100%以上を目指す 					

【結果】

経費回収率について、実績値は令和 3 年度の 7 割台から 8 割台に推移し、改善傾向にあるが、目標値 100%を下回る。

(2) 水洗化率の向上

(単位：%)

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
目 標	88.75	88.95	89.15	89.35	89.55	89.75	89.95	90.15	90.35	90.55
実 績	89.00	89.54	89.70	90.64	今後も継続して水洗化率の向上を目指す 					
差	+0.25	+0.59	+0.55	+1.29	-	-	-	-	-	-

【結果】

水洗化率について、実績値は目標値を達成している。

3. 今後の具体的な取り組み

- (1) 下水道使用料の改定（目標年次：現行計画のとおり）
- (2) 水洗化率の向上（目標値：現行計画のとおり）
- (3) ウォーター P P P の導入（目標年次：令和 9 年度以降）



4. 検証結果

令和 3 年度から令和 6 年度においては、「水洗化率」は目標を達成し、今後も継続して向上を目指していきます。

今後は、前述で示した結果を踏まえ、現状の事業内容の整理や改善など、経営の健全化（使用料の適正化）に取り組めます。

●用語の説明

- 経常収支比率 ー 使用料等の収益で、維持管理費等の費用をどの程度賄えているかを示す。
(経常収益÷経常費用)
- 経 費 回 収 率 ー 事業にかかった費用を下水道使用料でどの程度賄えているかを示す。
(下水道使用料÷汚水処理費※公費負担分を除く)
- 水 洗 化 率 ー 下水道が整備された地域に住む人のうち、実際に下水道に接続している人の割合。
(水洗化人口÷処理区域内人口)